広報こうた
No.137　昭和42年1月15日

発行　額田郡幸田町
編集　幸田町企画室
印刷　あいち印刷KK

人口動態（昭和42年1月1日現在）

総人口		18,094人
内	男	8,312人
	女	9,782人
世帯数		3,482戸

12月中の移動

出生	37人	男	20人
		女	17人
死亡	16人	男	8人
		女	8人
転入	82人	男	37人
		女	45人
転出	49人	男	16人
		女	33人

一月の解説

一月のことを陰暦で「むつき」と呼びます。これは年の初めにおたがいが、むつみ合うことから起こったといわれます。一月の六日は小寒（寒の入り）で、寒さが段々きびしくなり、二月三日の節分を迎えることになりますが、この間を寒中といいます。

幸田町消防団 出初式を挙行

新春恒例の幸田町消防団出初式は、寒さ厳しい一月十日幸田中学校庭において、県西三河事務所、岡崎警察署を始め町議会議員、区長さん等内外の来賓多数列席のもとに盛大に挙行されました。

式は閲団・操法・放水訓練・分列行進そして表彰と進められ、火の用心の声も高くその幕を閉じたが、本年もまた消防の守りいよいよ固しの感を深めました。

表彰は、それぞれの分野において抜群の功績のあったものに贈られ、まず、多年消防に尽くした団員を初めに、優良防火家庭、消防に陰ながら協力した一般のかたがた、そして今回は勉学を通じて防火思想の普及向上に努力した少年消防クラブ員も表彰されました。

表彰の内訳はつぎのとおり

消防団員の部

◎消防庁長官表彰
第二分団　団員　辻本初男

◎愛知県消防協会表彰
△精勤章
本部　副団長　小林竹一
△善行章
第一分団　分団長　小林茂雄
第三分団　副分団長　牧野孝義
第二分団　部長　本田肇
第四分団　部長　稲沢邦典

◎額田郡消防団連合会長表彰
△特別表彰
第二分団　団員　辻本初男
△普通表彰
第二分団　部長　鳥居泉
第一分団　部長　鈴木良則
第三分団　部長　天野泉
第四分団　班長　稲吉喜久雄
常備部　団員　本多則義
常備部　団員　大須賀二郎

◎岡崎警察署管内消防警察連絡協議会長表彰
第四分団　分団長　星野正司
第二分団　班長　志賀肇
第三分団　班長　杉浦英一
第三分団　団員　大須賀勇夫
第一分団　団員　原田政一
第四分団　団員　山本幸吉

◎幸田町長表彰
△功労表彰
第二分団　団員　辻本初男
△優良表彰
第三分団　部長　加藤萩幸
第一分団　団員　丹羽清
第一分団　団員　平岩省三
第二分団　団員　清水政幸
第二分団　団員　清水勝
〃　団員　山本勇夫
第三分団　班長　坂本俊光
〃　〃　山本知治
〃　団員　志賀正昭
〃　〃　左右田力夫
〃　〃　鈴木勝二
〃　〃　平岩豊市
〃　〃　山本一
第四分団　部長　長谷一治
〃　団員　岡田登喜雄
〃　〃　長谷薫
〃　〃　斉藤三喜男
〃　〃　永井利静

◎幸田町消防団長感謝状
第三分団　分団長　大須賀勤
第二分団　〃　本多特夫
第四分団　副分団長　長谷興弘
〃　団員　夏目茂
〃　〃　内藤辰夫
〃　〃　内藤勝秋

（県消防操法大会出場）
第三分団　副分団長　牧野孝義
〃　部長　天野泉
〃　団員　鈴木勝二
〃　〃　左右田憲明
〃　〃　大須賀信吾
〃　〃　天野博
〃　〃　左右田力夫
〃　〃　鈴木秀夫

少年消防クラブの部

◎幸田町少年消防クラブ運営指導協議会長表彰
幸田中学校　三年　小園隆一
坂崎小学校　六年　三浦郁夫
幸田小学校　六年　石川里代
荻谷小学校　六年　榊原勝
深溝小学校　六年　日高順子
豊坂小学校　五年　乙部孝代

一般の部

◎幸田町長表彰
△災害協力者
幸田町大字坂崎字小道三八ノ一
林　林松
幸田町大字芦谷字幸田五〇
手嶋武
△優良防火家庭および事業所
幸田町大字坂崎字次見四〇
坂崎醸造工業株式会社
幸田町大字野場字上片田四四
鈴木八郎
幸田町大字深溝字田中一三
植村竹一

辻本団員に輝く 消防庁長官表彰

昨年九月坂崎田行寺の火災に出動し、身命を投げうって消火に当った第二分団の辻本初男団員には消防庁長官よりの表彰状が伝達され、また、額田郡消防団連合会長、幸田町長からも数々の賞状が贈られました。

今春入学を予定される子たち

「もういくつねると学校へいけるの？」と指おり数えて学校へいける日を待っている可愛い子どもたちの入学期が近づいてまいりました。

今春入学を予定されている子どもさんは次のとおりですので、記載もれまたは名前の誤りなどがありましたら幸田町教育委員会事務局へご連絡ください。

なお本年四月の入学者は昭和三十五年四月二日から昭和三十六年四月一日までに生まれた子たちです。

【長嶺】本田栄子、安藤壱郎

【久保田】杉浦仁美、杉浦浩、市川巌、小野昌史

【坂崎】近藤里美、小山育代、近藤泉、石川晴美、山本弘司、平岩利之、柴田和夫、高橋政宏、三浦弘子、成瀬明子、三浦悠子、林敏夫、黒柳世志子、鶴田厚子、杉浦淳子、安藤やよい、小林元子、平岩俊基、中田日登美、小林清美、村上晃一

【高力】梅村みどり、鶴田明宏、池田弘樹、沼田仁美、加藤るみ子、川端隆幸、小野美佐江

【大草】山下明美、鴨下真澄、本多幸廣、本多弘志、山本直子、都築幹浩、仲井征生、天野政幸、都築隆、山本裕子、秋岡良一、小山真紀子、鴨下幸子、平松美幸、山下正敏、斎藤仁、原田浩子、吉本政二、小川留美子、鈴木昭人、山本志代、本多義裕

【鷲田】鈴木朝代、鈴木澄代、松本恭子、鈴木明美、大塚恵子、石川靖、石川千鶴、成瀬弘子、成瀬久美子、成瀬直美、鈴木早苗、成瀬里枝

【三菱】渡辺智彦、長田和則、広瀬さゆり、松川桂子、福島洋史

【新田】本多友和、本多豊裕、本多敬二、本多正彦

【横落】石川浩、榊原光弘、中根喜久治、新家孝之

【岩堀】清水裕行、清水秀明、清水奈保美、山本敦子、小野泰人、山本成彦、本多宣子、小野哲治、志賀幸男、志賀利幸、山本一敏、本田一恵、志賀五一、朝岡昇、池田博徳、三浦仁美、小栗信乃、梅田うたみ、榊原総美、太田美千也、磯部雅子、藤田一夫、小林肇、鈴木良秀、山崎俊雪

【荻】小林慶二、高井裕、神田瞬子、貝吹匠子、内田恵美、内田悦子、内田一成、山崎吉裕、稲吉江利子、小野一彦、稲吉美智子、貝吹美代子、鶴田佐己子、章次勉

【幸田】栗田ゆみ、永井志仕子、山田幹夫、鈴木利行、小田恵美子、牧野京子、中川正明、竹内広司、杉浦康広、鈴木佳子、左右田美鶴、加藤雅規、志賀真澄、鈴木郁代、桜井慶文、鈴木幹子、小林美佐代、尾崎靖博、兼原研治、坂本孝雄、稲よし子

【芦谷】山田絢子、太田真治、小田薫、北村彰人、牧野利光、小野田真、小田公敏、伊与田義信、中之浜千穂子、星野京子、平岩顕子、石沢秀雄、久保田英治、軽子初雄、対馬敬之、簡野まゆみ、大熊一義、夏目昌弘、榊原芳浩、近藤浩司、長谷合子

【市場】山本武、山本貞子、西田美音子、三浦大作、安達勝美、竹内湧子、日高慎吾、三浦典子、三浦幸子、佐野康博

【里】岩瀬厚司、近藤雅義、岩瀬剛章、岩瀬正季、岩瀬清、大竹紀子、星野智子、野名安保、仲川浩司、稲吉安永、野田知加子、尾崎浩美、酒部一馬、斉藤智子

【海谷】金田衣代、福沢典子、福沢正美、福沢淳一、村越幸子、長谷万喜男、永谷久美子、中根恵美子、山本忠司、三田桂子、伊藤久美子、伊奈正敏、村瀬幸代、岡田智子

【野場】伊代美保子、牧野一、永井秀子、山本京子、安西ひろみ、牧野敏子、大須賀和美、大須賀水穂子、大須賀久美、岡田康彦、坂本幹男、大須賀武、大須賀浩、中川由紀夫、牧野元昭、天野真美、手嶋保弘、手嶋浩美、磯部真司、杉浦美千代

【永野】山本明子、山本好広、山本智、山本正之、山本市郎、鈴木晃、手嶋美代子

【須美】坂本剛、加藤寛美、平岩政人、浅井由美子、浅井美鈴、坂本典子

【上六栗】岩瀬数宏、大須賀美智子、大須賀一彦、大須賀勝彦、蔭山晶子

【桐山】長谷ちひろ、稲吉浩志、市川益生、小林正寛、稲吉康弘、稲吉博代

【逆川】長谷八千代、稲吉徳子、稲吉籍昭、稲吉由美子、長坂広美

【六栗】志賀洋子、鎌柄由美子、永井康宏、川添美智代、高橋順子、越山桂二、稲田佐登美、越山真弓、山本由利子、鈴木可子、林和久、松本由美、松本美枝、大野美江子、北川知砂子、大瀬勝久

成人と国民年金

―国民年金に加入しましょう―

一月十五日は、成人の日です。二十才になると法律的にも社会的にも一人前としてあらゆる権利と義務が与えられ、社会の一員としてスタートするわけですが、これを機会に忘れてはならない義務の一つに国民年金への加入があります。

国民年金は、二十才以上六十才未満の国民で、厚生年金や各種の共済組合に加入していない人たちが必らず加入しなければならないものです。

年金制度で、毎月わずかな保険料をかけることによって、将来の老令、廃疾、死亡といったことからくる生活の不安を、年金によって少しでも緩和しようという目的で、国が行なっている事業であります。

年金というと遠い将来のことと考えがちで、国民年金の加入についても関心が少ない場合が多いのですが、現代のような生活環境のもとでは、いつどこで不慮の災難にあうかわからないし、平均寿命の延長とともに、将来老人が多くなることも予想されることから、年金制度の必要性が痛感されるわけです。

成人の日を機会に、もう一度国民年金制度の存在の意義を考えてみたいものです。

国民年金への加入は、役場で簡単に手続きができます。

国民年金は、年々内容が改善され、よりよくなっています。

しあわせで明るい社会をつくるためにも、加入すべき人は加入し与えられた義務は守ろうではありませんか。

歳末カンパ金を寄付

全繊三菱労働組合より、カンパ義捐金二一、八一六円を、恵まれない人のためにと寄付がありました。

有意義な使途に充てさせていただきます。

社会福祉協議会

職員紹介

このたび、次のとおり職員の異動がありました。

○十二月二十八日付
退職　永井仁美（企画室）
〃　稲吉玉枝（総務課）

○一月四日付
総務課　清水和枝（税務課）
企画室　岩瀬はな子（土木課）

戸籍移動

（出生）

出生児	父	区名（日順）
佐野直人	直勝	幸田
伊福英志	静雄	芦谷
星野秀明	隆宣	市場
中根一将	紀明	横落
鈴木悦子	秀夫	野場
黒柳裕子	隆司	大草
足立勝弘	武	大草
山本義明	一男	坂崎
志賀隆司	庸男	六栗
大須賀ゆかり	好夫	上六栗
牧野聡	良之	芦谷
畔柳光行	武治	芦谷
神谷敏行	勝	海谷
池田美香子	十三治	岩瀬
志賀育子	勲	岩堀
長谷正人	得三	桐山
鈴木浩一	実	鷲田
内田守	静治	荻
杉浦礼子	郁男	坂崎
浅井千代美	光太郎	坂崎
鈴木史朗	律夫	芦谷
柴田滋之	勝	坂崎
吉川歩美	省三	芦谷
小塚あけみ	義雅	里
志賀洋子	洋	新田
大脇恵子	正規	六栗
田中一七子	清二郎	幸田
川原知子	一	坂崎
川原洋子	一	坂崎
竹田薫	昇	六栗
小滝広子	武男	芦谷
榑林賢一	信吉	鷲田
亀田勇雄	滝治	芦谷
福井喜央	義和	三菱
太田茂穂	勇三	芦谷
稲吉一也	一志	市場
梅村ひとみ	文一	野場

（死亡）

死亡者	年令	世帯主	区名
松田仁吉	81才	本人	岩堀
川口キクノ	55才	安一	大草
佐野長五郎	79才	賢二	芦谷
羽根渕市松	60才	本人	大草
加藤しま	75才	三次	岩堀
蜂谷あい子	44才	本人	海谷
山本こう	79才	仙吉	岩堀
大須賀きぬ	71才	友五郎	野場
安藤辰次郎	76才	繁	長嶺
都築要吉	79才	隆	永野
鈴木寛	64才	本人	鷲田
岩瀬きし	77才	錦太郎	里
平岩てる子	30才	輝美	須美
黒柳浩三郎	80才	悦次	坂崎
中根熊次郎	80才	本人	市場
鈴木みい	89才	勇	岩瀬

衆議院議員、愛知県知事選挙

模範選挙は我家から

みなさまがたにおかれても、すでにご承知の衆議院議員と愛知県知事の二つの選挙が展開されております。

国のため、郷土のため一人として棄権することなく、正しく判断し、自分が選んだ人に投票いたしましょう。

なお衆議院議員の選挙と同時に七人の最高裁判所裁判官が国民の信を問うことになりました。

一月二十九日(日)衆議院

△一月八日
不在者投票開始（衆議院）
△一月十九日
不在者投票開始（最高裁）
△一月二十二日一時三十分
立会演説会（中央公民館）
△一月二十九日　投票日
△一月三十日　開票日

二月四日(土)知事

△一月十日
不在者投票開始
△二月四日　投票日・開票日

★投票当日投票できない人は
投票当日投票できない人は、投票日前でも、事由によっては、投票できますからお気軽に役場吉良役場支所までお問合せください。

保育所入所申請書の受付始まる

昭和四十二年度の保育所入所児童の受付を次によりいたしますから、入所を希望される家庭は入所手続をしてくださるようお願いします。

●受付期間
二月一日から
二月十日まで

●出張受付場所　日時
幸田保育所　二月一日后一時から
大草保育所　二月二日　〃
深溝保育所　二月三日　〃
豊坂保育所　二月六日　〃
坂崎保育所　二月七日　〃

●その他について
本年は時に出張受付をし、その際申請書の記載事項について説明会を行いますから受付時刻の一時三〇分までには必ず集合してくださるようお願いします。

なお申込書の用紙については出張受付の際用意していますから当日は印鑑を持参して来てください。もし当日が都合悪くて出掛けられないかたは地区内に役場住民課または入所を希望される保育所で手続をしてください

●受付場所
幸田保育所　一四〇名（一五名）
大草保育所　九〇名（一〇名）
深溝保育所　七〇名（一〇名）
豊坂保育所　一二〇名（一二名）
坂崎保育所　六〇名（五名）

（カッコ内はうち募足数）

●保育所名　定員

幸田駅―遠望峯山―大井池を結ぶ

林道遠望峯線・鷲ケ峯線

最終工事着工

―― 六ケ年の才月と総額四千万円を投じて ――

幸田町では遠望峯山頂の開発を促進するため、昭和36年以来大草の大井池より林道鷲ケ峯線二、四事業費三百九十万円で三月二十日一〇米を開設し、昭和39年からは幸田駅―不動ケ滝を経て遠望峯山頂に通ずる林道遠望峯線を到設しましたが、本年はこの二つの林道を結ぶ森林開発林道遠望峯線・鷲ケ峯線を開設することとなり、年もあらたまった一月五日指名競争入札の結果、建志幸田町の和幸建設株式会社が、請負業者と決定一月十日より工事に着手しました。

延長は合せて八六五メートル、事業費三百九十万円で三月二十日完工を目標に鋭意続けられております。

思えば昭和36年から六ケ年の歳月と総額四千万円、総延長五、五〇〇メートルで、これが完成しますと、幸田駅から不動ケ滝―遠望峯山―振山に匹敵する観光開発が期待されており、この完成が待たれております。

巾員4メートルで自動車も楽に通ることができ、まんまんと水をたたえた大井池、山頂にたてば眼下に蒲郡市・竹島・大島の浮く三河湾を一望におさめ、遠くには矢作川の清流・養老山脈・きらに伊勢湾が目に映えて銀色に輝き、三ケ根山に匹敵する観光開発が期待されております。

この工事の重要路線であります。

年金問答

夫婦一万円年金という意味は？

問　国民年金が成立されて、夫婦一万円の年金が支給されるというわけですが、これはどういう意味ですか。

答　こんどの改正で、二十五年の間、保険料を納めた場合に、その人に支給される老齢年金の額は、月あたり五千円に増額されました。厚生年金保険の老齢年金は、原則加入している人に支給される年金ですので、配偶者である奥さんなどには支給されません。そこで、ご主人と奥さんの二人に支給される老齢年金の額は、結果的には、厚生年金とほぼ同額となるわけです。

と、夫婦一万円の年金が支給されるというわけです。

昨年に改正されました厚生年金保険では、加入者保険者の標準報酬月額を平均した場合に、支給される老齢年金の額が、月あたり一万円に増額されました。厚生年金保険の老齢年金は、原則加入している人に支給される年金ですので、配偶者である奥さんなどには支給されません。そこで、ご主人と奥さんの二人に支給される老齢年金の額は、結果的には、厚生年金とほぼ同額となるわけです。

育児体験談を募集します

国際主医師会主催で最近における乳幼児死亡率の画期的減少を祝賀する意味において、従来育児に相当の困難を伴った夫婦見、医体不自由見を苦心して立派にお育てになったお母さんがたの体験談を募集いたしますから皆さん多数応募してください。

△募集要領は次のとおり
一、応募資格
現在就学前の未熟児または医体不自由児を立派に育てられたかた
二、応募締切
昭和四十二年一月三十一日
三、表彰
昭和四十二年三月上旬実施予定の乳幼児死亡率の画期的減少を祝賀する意味において、従来育児に相当の困難を伴った夫婦見、医体不自由児を苦心して立派にお育てになったお母さんがたの体験談を募集いたしますから皆さん多数応募してください。